

『カササギ殺人事件』の アンソニー・ホロヴィッツ最新刊！

一癖も二癖もある登場人物、伏線につぐ伏線、絡み合う謎。至るところに張り巡らされた糸が解かれていくとき、極上のミステリを読んでいる高揚に包まれるだろう。

丸善
丸広百貨店
東松山店
本郷綾子さん

椿書房
渡部哩菜さん

実はホロヴィッツのミステリ初めてでした。なぜ読んでいなかつたんだろう。(中略)これははまるここと間違いないし。

ジュンク堂書店
滋賀草津店
中山真理さん

『メインテーマは殺人』、『その裁きは死』があまりにも面白すぎて、これを超えてくることはないと思っていました。このシリーズ、読んでいて本当に気持ち良すぎます。



殺しへのライン
アンソニー・ホロヴィッツ
山田蘭 訳
Anthony Horowitz

今回も翻弄されるのは覚悟の上でページをめくった。そして、やはり完敗。悔しいけどホーソーンにはかなわないんだなあ。

reviewer
40代女性

真実が明らかになる場面では、やられた！の一言。ヒントは全て書かれていた。犯人の正体も衝撃。

reviewer
30代女性

読者、早くも
書店員の間で
話題沸騰！